

令和8年6月30日

校長 野口 典弘

第3号



鏡島小だより

<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>

いじめ見逃しゼロスクール集会

～相手の気持ちを想像すること、トラブルから学ぶこと～

6月5日、吉田中学校で「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。ポイントは、「いじめゼロ」ではなく、「いじめ見逃しゼロ」という点です。

いじめの定義を確認すると、「一定の人間関係にある者から、心理的・物理的な攻撃を受け、対象となった人が心身の苦痛を感じているもの」を指します。重要なのは「された側がどう感じるか」であり、たとえ冗談や遊びのつもりであっても、相手が傷ついた場合はすべて「いじめ」に該当します。つまり、いじめを完全に「ゼロ」にすることは、現実的には非常に難しいということです。もちろん、決していじめを容認しているわけではありません。いじめは絶対に許されないことです。だからこそ学校では、「いじめそのものを減らす指導（未然防止）」と、「いじめに気付いたときの対応の指導（早期発見・対処）」の両方を行う必要があります。今回の集会は、前者の「未然防止」にあたります。「相手が〇〇と思っているかもしれない」と相手の気持ちを想像することの大切さについて事例をもとに話し合いました。



また、鏡島小学校で6月23日に行った「なかよし集会」でも同様な視点で活動を行いました。相手の気持ちを想像することは発達段階的に低学年の子どもたちにはまだ難しい部分もあります。だから、ルールの押し付けや遊びの中でのトラブルが頻発するのです。しかし、それで良いのです。トラブルや喧嘩はあって当然であり、その解決方法や適切な対応について学ぶことこそが、後者の「早期発見・対処の指導」へとつながっていきます。

マザー・テレサは「愛の反対は、憎しみではなく無関心」と言いました。子どもたちの人間関係に関心を持ち、トラブルを成長のきっかけと捉えながら、学校・家庭・地域が一体となって適切な対応を行い、子どもの健全な成長を実現していきましょう。

日常の様子をホームページでもご覧ください

鏡島小学校のホームページは、休業日を除くほぼ毎日、トピックスの更新をしています。閲覧数が毎日更新の励みになります。最近では毎日100アカウントくらいの閲覧です。ぜひ、毎日のルーティンにしてください^^



赤白共にがんばった 運動会



綱引き (赤)

綱引き (白)

結果



ダンシング玉入れ

タイヤ取り

十日町小唄



大人リレー

閉会式

とびくら

限界に挑戦 マラソン大会

運動会、マラソン大会、つつじ活動、あいさつ運動・・・どの活動も保護者や地域の方と共に作り上げていく活動であることを実感しています。



表彰式

駅伝

スタート!

保育園の応援団

地域とともに 銚島小

家庭科クラブ



つつじ活動

小中合同あいさつ運動